

## 「祖父江ぎんなん」について

### 1 愛知県のぎんなん生産について

愛知県のぎんなんの出荷量は139.4 t、産出額は2億円で全国2位である（表1、2）。県内では、主に稲沢市（旧祖父江町）で多く生産されている。

表1 都道府県別ぎんなんの出荷量（2023年産）

| 順位  | 都道府県 | 出荷量（t） | 全国シェア（%） |
|-----|------|--------|----------|
| 1   | 大分   | 157.9  | 29       |
| 2   | 愛知   | 139.4  | 26       |
| 3   | 福岡   | 49.2   | 9        |
| 全国計 |      | 532.4  | 100      |

（出典：2023年産特産果樹生産動態等調査）

表2 本県産ぎんなんの生産状況（2023年産）

|        |         |
|--------|---------|
| 栽培面積   | 61.4ha  |
| 出荷量    | 139.4 t |
| 農業産出額* | 2億円     |

（※農業産出額は2024年都道府県別品目別農業産出額）

### 2 「祖父江ぎんなん」について

#### （1）由来

稲沢市の旧祖父江町内では、古くから防風・防火のために屋敷周辺にイチョウが植えられてきた。約150年前に大粒の実がなる品種が旧祖父江町内で発見された後、品種の選抜や接ぎ木が行われ、経済栽培が始まった。

#### （2）出荷体制

2020年に市内3出荷組織が統合され、「祖父江ぎんなんブランド部会」を発足し、統一された出荷規格による共選出荷が行われている。単一産地としては日本最大の出荷量となっている。また、安全・安心で高品質な農産物の提供に取り組んでいる（表3）。

表3 祖父江ぎんなんの出荷体制について

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 出荷組織 | J A愛知西祖父江ぎんなんブランド部会<br>生産者数120名 |
| 出荷時期 | 8月中旬～12月                        |
| 主要品種 | 「久寿（久治）」、「藤九郎」、<br>「金兵衛」、「栄神」   |

#### （3）地域団体商標「祖父江ぎんなん」

地域ブランドを強化・保護するために、愛知西農業協同組合が「祖父江ぎんなん」を地域団体商標に出願し、2009年4月に登録された。

#### （4）祖父江ぎんなんブランド推進協議会

「祖父江ぎんなん」のブランド強化を図り、生産者やJ A、関係機関が情報交換や交流等を行うために、2009年6月に「祖父江ぎんなんブランド推進協議会」が設立された。

#### 《祖父江ぎんなんブランド推進協議会》

○会 長 山口 哲也（愛知西農業協同組合代表理事組合長）

○構成員 祖父江ぎんなんブランド部会、愛知西農業協同組合、稲沢市、祖父江町商工会、  
県尾張農林水産事務所農業改良普及課、愛知県経済農業協同組合連合会

○事務局 愛知西農業協同組合

○活 動 ①メディア対応やホームページ等での情報発信、②イベントへの出展等の販売促進、③栽培研修会や栽培試験等による品質向上に関する取組。